

1、開催日時：平成 22 年 2 月 24 日 15：00～17：00

1、開催場所：楯山コミュニティセンター

1、技師会理事数：25 名

参加理事：15 名

阿部毅、佐藤寛、宮野勇徳、奈良悦子、市川聡、三浦浩子、平澤裕之、熊谷優子、
齋藤敦、田中喜美子、高橋一彦、伊藤晃、木内優子、武田亮、村岡利生

委任状提出理事：8 名

藤田秀文、三浦徹、川上登、高山憲男、安部真理子、伊藤優子、高橋稔、高橋和則

欠席理事：2 名

遠藤正志、金子栄一、

計 23 名で総理事数の過半数を超えており、今回の理事会は成立した。

1、書記：市川聡（県北担当）

1、議事録署名人：佐藤寛、宮野勇徳

1、議事内容：阿部毅会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長：阿部毅会長

<書記の選出>

中央、県北、県南、由利の各支部順で行われており、今回は県北より市川聡が選出された。

<議事録署名人の選出>

佐藤寛、宮野勇徳の 2 名が選出された。

I. 会長挨拶 阿部毅会長

第 50 回東北医学検査学会は、皆様の大変なお力添えで無事に終わりました事を感謝申し上げます。東北学会の詳細につきましては議題にありますので、そこで報告します。

さて平成 22 年度は診療報酬改定の年です。相対的に見ると 0.19%の引き上げとなったようです。これに対して各施設に、色々な工夫が強いられてくると思われまます。技師会の様々な活動の場を利用し、色々な情報を得て参考にしてもらえればと考えています。

II. 前回理事会議事録の確認 宮野勇徳事務局長

平成 21 年度第 3 回理事会（平成 21 年 9 月 11 日開催）

事前にメールで確認済のため、質問などもなかった。

III. 議題

ア) 第 50 回東北医学検査学会の報告 阿部毅会長

第 50 回東北医学検査学会では、理事・実行委員・実行委員を出してくれた技師長及び施設長に感謝致します。参加人数は、会員 636 名、非会員 7 名、情報交換会 378 名、臨床と検査展は二日間で 583 名、公開講演 674 名、共同開催のアレルギー学会には県外会員 38 名

でした。東北各県からは、「盛大だった。」「スタッフは、こまめに動いてくれて良かった。」という意見が聞かれました。しかし会場は手狭だったし、テナントビルの関係上沢山の制限があり、ご迷惑をかけました。また、第3回理事会で話をした実行委員の日当も払えず、申し訳ありません。ですが、収支の結果残金が出ましたので、用途について検討をお願いします。

第50回東北医学検査学会会計報告 田中喜美子理事

資料参照

変更点：収入・利息 267円 → 1,222円

・合計 15,624,367円 → 15,625,322円

支出・式典の式次第は、印刷費とする。

残金・4,170,424円 → 4,171,379円

・2/23に秋田県技師会に2,500,000円返金して、残金1,671,379円となる。

Q 佐藤寛副会長

新潟学会視察が、H20/9/22～H20/12/22までとなっているので3ヶ月も視察しているように見えるが？

A 田中喜美子理事

この3ヶ月の間に行った実行委員会も含んでと言う事ですので、備考欄に「実行委員会を含む」と書きました。

第50回東北医学検査学会会計は、拍手で承認された。

第50回東北医学検査学会残金の用途について 佐藤寛副会長

慰労会を開催したい。

日時：3月20日（土）県技師会総会・講演会終了後 17：30～

場所：パーティギャラリーイヤタカ（旧 彌高会館）

会費：2,000円（実際は5,500円）当日徴収する

招待するのは、理事、実務委員、ピアノ・サクソ演奏者、式典司会者、学会に職員を派遣してくれた各施設の責任者（残された人達で仕事をしていたので、感謝の意味で）。参加できない人には、手当てはしない。

支出は、3,500円×120人＝420,000円となる。

H21年度に購入したパソコンの代金96,081円に使用したい。

技師会のデジタルカメラを新しくしたい。（5万円以内）

残りは、定期預金にしたい。

Q 村岡利生理事

学会に職員を派遣してくれた各施設の責任者の人数を、計算に入れなくても良いのか？

A 阿部毅会長

実際に、学会に職員を派遣してくれた各施設数は、そんなに多くない。また実行委員がすべて参加する訳でもない。会場の都合で80人規模を予定している。

Q 村岡利生理事

事業収入を、慰労会や物品購入などに使用しても問題がないのか？

A 阿部毅会長

問題はない。

A 宮野勇徳事務局長

パソコン・デジカメは学会でも使用するので問題ない。慰労会も支出の会議費とすれば問題ない。

A 田中喜美子理事

実行委員会と同じ扱いで、会費は貰うけど補助を出すという様にすれば問題ない。

Q 奈良悦子理事

公益法人になると貯蓄という問題にならないのか？

A 阿部毅会長

平成 22 年 1 月 27 日に県医務薬事課立ち入り検査が行われた際にも、何百万か入っている定期預金があり、このお金の目的は何か聞かれた。「手狭になった事務所の移転のため。」「学会を行うためには拠出金が必要になるため。」と答え、納得いただいた。今回の東北学会のお金の処理の仕方（拠出金を出して、終了後に返却してもらう。）を、県学会にも取り入れていきたい。

第 50 回東北医学検査学会残金の使途については、拍手で承認された。

第 50 回東北医学検査学会の出席者登録について 宮野勇徳事務局長

出席者の日臨技への登録は終わりました。ですが「会員番号 070623」の方の行方がわかりません。「07」は福島県の番号なので聞いてみたところ、該当者がいないそうです。このような事の起こった原因は、「会員様の申告を、手入力し間違えたのではないか。」「会員が自己申告するときに、間違えたのではないか。」「日臨技に 2 年以上会費を納めていないが、番号自体は永久番号なので。」というような事が考えられる。東北 6 県の事務局に、該当者の申し出をお願いする文書を配布します。

イ) 平成 21 年度第 2 回通常総会について 宮野勇徳事務局長

開催日時 3 月 20 日（土）14：00～15：00

場 所 サンバル秋田

①各支部長に総会役員選出のお願い。締め切り 3 月 5 日。

②公開講演講師の選任 佐藤寛副会長

時間 16：00～17：00

講師 秋田県農林水産部 水産漁港課 課長 杉山秀樹

内容 秋田の地魚・旬の魚

15：00～16：00 までは「平成 21 年度精度保証事業報告」があります。

③議案書（案）作成資料の担当配分について 宮野勇徳事務局長

担当配分は常任理事会で決まりましたので、大事な内容の所を話します。

事業計画

通常総会 第 1 回 平成 22 年 5 月 29 日（土） ルポールみずほ

第 2 回 平成 23 年 3 月 19 日（土） ジョイナス

講演会事業の、管理監督者研修会は生涯教育研修会となる。小規模検査室の研修会

を予定している。

福利厚生事業 平成 23 年 2 月頃 本荘の酒蔵見学ツアーを予定
東北臨床検査技師会関係

第 51 回東北医学検査学会

開催期間 平成 22 年 10 月 9 日（土）～10 月 10 日（日）

場 所 青森県八戸市

（社）日本臨床検査技師会関係

第 59 回日本医学検査学会

開催期間 平成 22 年 5 月 22 日（土）～5 月 23 日（日）

場 所 兵庫県神戸市

ウ) 平成 22 年度事業計画（案）について 宮野勇徳事務局長

県医務薬事課立ち入り検査の報告 阿部毅会長

資料参照

平成 21 年 1 月 27 日に県医務薬事課立ち入り検査が行われた。この監査は 3 年に 1 回実施されるので、3 年後に行われる監査では今回指摘・指導された事項について改善されているか確認される。これを改善するための方策を、平成 22 年度事業計画に盛り込み、また先週行われた常任理事会の場で、平成 22 年度に向かって 3 つの提案をさせていただいた。「1・技師会の基礎固めをしっかりとしましょう。」予算をつけて公認会計士を招聘し、帳簿を見てもらう。「2・臨床検査を広く知ってもらいたい。公益性を高める。」ホームページ充実の為予算をつけた。「3・臨床検査に携わる未来の子供達を育てて行ければいいな。」中学生を中心に、職能体験を行う事業を行いたい。このような考えが、平成 22 年度事業計画及び予算に反映されていますので、討議してもらいたいと思います。

秋田県臨床検査技師会事業計画案について 宮野勇徳事務局長

資料参照

第 34 回秋田県医学検査学会は、中央支部担当です。

開催日 11 月 13 日

会 場 秋田温泉 さとみ

検査研修会事業について

血液検査部門

平成 22 年度第 1 回血液検査部門研修会

「第 3 回秋田血液凝固検査セミナー」

期 日 4 月中旬～5 月中旬の土曜日（予定）

会 場 秋田市

参加費 無料

平成 22 年度第 2 回血液検査部門研修会

「血液型形態についての基本的運用」

期 日 9 月～10 月中旬の土曜日（予定）

会 場 秋田市

参加費 1,000 円

感染制御部門

年 1 回以上の開催 (予定)

検査総合管理部門

精度管理の情報処理研修会

期 日 9 月 (予定)

生物化学分析部門

未定

生理機能検査部門

未定

病理検査部門

未定

一般検査部門

未定

輸血・移植検査部門

未定

詳細は秋臨技ホームページを参照下さい。

Q 村岡利生理事

輸血・移植検査部門の来年度の計画は、今週中に出します。未定の部門には、もう少し頑張ってもらい、総会までに予定で良いので、こんな研修会を考えていると出してもらいたい。

また阿部会長の言っていた「中学生を中心に、職能体験を行う事業。」について、事業計画のどこかに載せなくて良いのか？

A 阿部毅会長

公益性を考えると啓発普及事業のところか、または育成と考えると学会を見せてもいいかなと考えている。担当の部署で考えてもらいたい。

A 村岡利生理事

当病院では、高校に講演に行ったりしている。中学校向けにも、病院全部を回る見学コースを設けたりしている。1 つの事業として、考えても良いのではないかと思います。

A 阿部毅会長

事業を行うためには、学術部門の方々から指導してもらえる人を出してもらいたい。学術部門とも打ち合わせを行いながら、事業を展開していきたい。

Q 村岡利生理事

秋田県臨床検査技師会会報「秋臨技だより」の 83 号がまだ出ていませんが、発行しないといけませんか？

A 阿部毅会長

今年度の 83 号は、出さない方向でいきたいのですが？

A 佐藤寛副会長

総会で3回発行するとして承認されているのですが、やらなくても良いのですか？

A 宮野勇徳事務局長

総会で承認されているので、やらなければならない。ただ、少人数の人に負担が掛かっているので大変ではないのか？

A 村岡利生理事

今年度中に83号を発行しろと言われたら、発行することはできます。しかし82号(学会報告)を発行する際、ページ数が多くて予算オーバーしたので予算がないのではないか。

A 三浦浩子理事

36,000円位あります。

A 平澤裕之理事

年3号発行することになっているので、ページ数は1枚でも良いので発行してもらいたい。たとえば、日付を3月にして4月に発行すればどうですか。

A 阿部毅会長

今年度発行予定の83号に関しては、予算が少ない、掲載情報が十分でないとの理由で発行しないと、決算総会の時に了承をもらいます。

反対意見がなく、拍手で承認される。

Q 阿部毅会長

次年度からホームページを充実させていき、色々な情報が載ることから、「秋臨技だより」年3回発行必要なのか、また、配布状況も今のままで良いのかご意見を聞きたい。

A 宮野勇徳事務局長

出版事業とホームページは違うものなので、事業科目の表現を変える。

出版事業の「秋臨技だより」を83号・84号の2号だけにして、ホームページの内容を充実させていく方法もある。

A 村岡利生理事

ネタとしては、1回目は新人の紹介、2回目は学会報告として発行することはできますが。

賛助会員の方で「秋臨技だより」を楽しみにしている人もいます。

A 阿部毅会長

広告を出してもらえれば良いのではないか。また、年3回発行の経緯を調べてみます。

A 田中喜美子理事

ホームページに予算を回し充実させたいと言う事で、「秋臨技だより」を年2回発行しますと総会で言えばどうですか。

A 市川聡理事

ホームページを充実させたいのなら、会報をすべてホームページに載せて会報を

止めればどうですか。その方が、ホームページを見る人が増えるのではないか。

A 阿部毅会長

従来、出版事業を続けてきている。

A 宮野勇徳事務局長

公益性を高めるために各市町村に配布すると良い。これからはその様な事も、考えていかないといけない。

A 市川聡理事

これからは出版事業費も増えて、ホームページにも費用がかかるようになっていくのか。

A 宮野勇徳事務局長

その様な可能性もある。

A 阿部毅会長

次年度の秋田県臨床検査技師会会報「秋臨技だより」は、83号・84号の年2回発行するで、良いですか？

反対意見がなく、承認される。

Q 田中喜美子理事

啓発普及費の広報費に、ホームページ事業と養育事業があるのですが？

A 宮野勇徳事務局長

中科目の出版事業費と啓発普及費の間に広報事業を加えて、ホームページを臨床検査の啓発・公共性の向上の為に強化の為に強化する、とすれば良いのではないか。

A 村岡利生理事

組織運営規定の中に、第14条の2の(12)広報活動に関する事(13)技師会誌の編集に関する事(14)その他編集広報に関する事、と書いてある。

A 阿部毅会長

啓発普及費の広報活動費としてホームページと養育事業を入れる、出版事業費の中に会報を入れる、でどうですか。

反対意見がなく、承認される。

Q 佐藤寛副会長

次年度の秋田県臨床検査技師会会報「秋臨技だより」は、83号・84号の年2回発行するとなると、予算も減額になるのか？

A 阿部毅会長

82号は、ページ数が多くて6万弱かかった。この形でやると12万かかるので、このままで行きたい。予算が余ったら、次の年に予算修正したらどうでしょうか。

反対意見がなく、承認される。

阿部毅会長

他に質問や、こんな事をしたらなどの提案はありませんか。

質問や提案はなく、平成22年度事業計画(案)は承認された。

エ)平成22年度(社)秋田県臨床検査技師会予算(案)について 三浦浩子理事

資料参照

前年度と比べて差の大きい所、特に変わった所を読み上げます。

収入の部

- ・ 事業収入の学会及び会員参加費が増えている。今年度は県学会がありませんでしたが、来年度は開催しますので増えています。どちらも、特別会計より一時的に借入します。
- ・ 共有化収入は、去年精度補償費の中に組み込まれましたので、削除して下さい。

支出の部

- ・ 公益法人の支出の、管理費と事業費の%の関係がありましたので、それに合わせて予算を組みました。
- ・ 事務費の会議費の中に、法人化委員会が含まれます。
- ・ 公租公課は、今年度税金が増えていましたので増やしました。
- ・ 管理費に、公認会計士監査費が加わる。これは公認会計士による会計処理と、公益法人委員会等の為にとった予算です。
- ・ 事業費に広報費が加わる。これは、ホームページの充実、職業体験授業などの為にとってあります。
- ・ 減となっている項目が沢山ありますが、これは 20 年度と 21 年度の支出を見て決めました。

Q 市川聡理事

検査研究部門交付金の備考に、8 部門×7 万とありますが、予算額は 700,000 円です。合いませんが。

A 三浦浩子理事

部門長に 100,000 円と、足りなくなって出したりしますので少し多く予算を組みました。

A 高橋一彦理事

追加になっているのは書いて下さい。

A 三浦浩子理事

はい。

Q 佐藤寛副会長

事務員給与が減額されていますが？

A 三浦浩子理事

増額された時は検査データ共有化に協力してもらったので増えましたが。検査データ共有化が精度保証と一体化したので、今年度の状況を見て減らしました。

Q 齋藤敦理事

第 34 回秋田県医学検査学会は、1,300,000 円で足りるのか？

A 阿部毅会長

東北学会と同じ様に借入した予算で準備して、広告費や会員参加費などから出た収益で返してもらいます。

A 田中喜美子理事

1,300,000 円は借りる事ができるけれど、返さなければならないお金と言う事です
ね。

A 三浦浩子理事

はい。ちなみに、平成 20 年度由利地区で行われた秋田県医学検査学会は、
1,485,501 円の収益をあげました。

A 佐藤寛副会長

一番大きいのが広告収入・ランチョンセミナーです。今年も集まると思います。

公益法人について 阿部毅会長

予算の備考に入っている法人化委員会は、過去 2 年間は休んでいましたが、平成 25
年 11 月までに公益法人か社団法人かを選択しないといけない。遅くとも平成 23 年度の
4 月までに、どちらかに決めて申請を出したい。どちらを選ぶにしても、定款の変更が
必要になります。平成 22 年度は、日本臨床衛生検査技師会や他県の技師会及び県内の
医療団体などの推移を見ながら、法人化委員会で検討して行きたい。結果は随時、理事
会で報告したい。

A 佐藤寛副会長

組織調査部の佐藤寛理事・高山憲男理事・熊谷優子理事・伊藤晃理事・武田亮
理事を中心として検討して行きたい。

平成 22 年度（社）秋田県臨床検査技師会予算（案）に質問がなく、承認された。

阿部毅会長

今日、公認会計士の方と合う事になっている。款項目の場所等を相談してきたい。

オ) その他

三浦浩子理事の辞任について 三浦浩子理事

病院の経営状況が悪くなり、本年度いっぱい退職する事になりました。任期途中
ではありますが、辞任させていただきたいです。よろしくお願い致します。欠員補充
として当院の会員に理事をお願いしましたが、そのような状況でないとの事から断ら
れました。

意見はなく、承認された。

阿部毅会長

会計として頑張ってもらっていたので残念です。欠員の補充は、県北担当の役員推
薦委員に推薦してもらい、理事会で承認してもらいたいと思います。3 月 20 日の総会
の前に理事会を開き、承認してもらい、総会に臨みたい。

宮野勇徳事務局長

平成 21 年度第 5 回理事会として、召集かけた方が良いですね。

阿部毅会長

はい。

V 事務局からの連絡 宮野勇徳事務局長

ア) 日本臨床衛生検査技師会総会について

3 月 27 日（土）「平成 21 年度第 2 回定期総会」は、佐藤寛副会長に出席お願いして

います。

イ) 東北臨床検査技師会関係について

2月26日(金)「平成21年度第2回東北臨床検査技師会代表者会議」は、阿部毅会長・藤田秀文副会長に出席お願いしています。

ウ) 日本臨床衛生検査技師会関係について

「世界エイズデー」啓発活動報告

資料参照

・参加人数 19人

・内容 パンフレット・ティッシュペーパー・カットバン等の配布

日本臨床衛生検査技師会から貰ったティッシュペーパー(1,000個)・カットバン(1,000個)は、すべて出払いました。

・日当・交通費に関しては、秋臨技の旅費規定で計算しています。

・残金211,300円の使い道は、スタッフジャンパー・のぼり等に使いたい。他に何かアイデアはないですか？

A 阿部毅会長

次回の理事会で意見を聞きたい。その他、何かありますか。

Q 平澤裕之理事

いままでの東北学会の、奨励賞の対象基準はありましたか。定款には何もない。各分野の研究班の班長が一番頑張っている様に見えますが、20年位前は研究班の班長は任期中には貰えない雰囲気でした。その様な決まりはありますか？

A 阿部毅会長

連続して発表している人と言う話があった。

A 村岡利生理事

東北学会の規約にないのですか？

A 佐藤寛副会長

各県技師会に任せています。

A 宮野勇徳事務局長

今までの例だと常任理事や学術部長を努めた人で、各分野から推薦のあった人の中から決めていたようです。

A 阿部毅会長

今回の奨励賞の対象者を、部門長に上げてもいいかと言う話ですか。

A 佐藤寛副会長

それだったら上げてもいいのではないか。

A 平澤裕之理事

発表が連続でなく、単発で複数やっている研究班の班長は対象になりますか。

A 佐藤寛副会長

次の東北学会の学会学術賞も、秋田で選任しないといけないのか。

A 阿部毅会長

4月以降でも間に合いますので、次回の理事会の話題にしたいと思います。

以上

社団法人 秋田県臨床検査技師会

議事録署名人 宮野 勇徳 ㊟

議事録署名人 佐藤 寛 ㊟